

2019年度「台湾日本語教育研究」国際シンポジウム

—AIと日本語教育との対話—

プログラム

場 所 淡江大学淡水キャンパス・驚声ビル3階（新北市淡水區英專路151號）
 時 間 2019年11月30日（土曜日）

0900-0930	受付(驚声ビル3階・驚声国際会議場前)		
0930-0940	開会式	会 場 驚声国際会議場 司 会 葉 菱（台湾日本語教育学会事務局長） 開会の辞 曾 秋桂（台湾日本語教育学会理事長） 吳 萬寶（淡江大学外国語学部学部長） 松原 一樹（公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長）	
0940-0950	休憩時間		
0950-1050	基調講演①	会 場 驚声国際会議場 司 会 頼 錦雀（東呉大学特聘教授） 題 目 自然言語処理の発展と応用 講演者 武田 浩一（日本名古屋大学教授）	
1050-1100	休憩時間		
1100-1200	基調講演②	会 場 驚声国際会議場 司 会 落合 由治（淡江大学特聘教授） 題 目 AIは道具である—日本語教育のための自然言語処理の取り組み— 講演者 山本 和英（長岡技術科学大学准教授）	
1200-1300	1.会員大会（会場：驚声国際会議場） 2.昼食（会場：T310、T311教室）		
	会場 驚声国際会議場	会場 T310教室	会場 T311教室
1300-1305	セッション① コメンテーター 羅曉勳 (銘伝大学准教授)	セッション② コメンテーター 邱若山 (静宜大学教授兼学科主任)	セッション③ コメンテーター 彭春陽 (淡江大学准教授)
1305-1325	曾 秋桂 (淡江大学教授)	落合 由治 (淡江大学特聘教授)	簡 曉花 (中華大学教授)
	AI技術による日本語教育への応用 —「日文習作(二)」授業を例にして—	日本語教育におけるAIの自然言語処理の 応用	Zuvio IRSを生かした「日本社会と流行文化」 授業の試み
1325-1345	趙 宣映 (韓国仁川大学校准教授)	公文 素子 (高知大学非常勤講師)	城戸 秀則 (東呉大学博士課程)
	ピア活動による文末表現の習得 —作文の授業の試み—	AIを用いた防災教育の可能性	繰り返しを表す語を伴う「する」と習慣 を表す「している」の扱い—『みんなの 日本語』を例に—
1345-1355	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1355-1400	休憩時間		
	会場 驚声国際会議場	会場 T310教室	会場 T311教室
1400-1405	セッション④ コメンテーター 林長河 (銘伝大学教授兼学科主任)	セッション⑤ コメンテーター 羅濟立 (東呉大学教授兼学科主任)	セッション⑥ コメンテーター 范淑文 (台湾大学教授)
1405-1425	頼 錦雀 (東呉大学特聘教授)	羅 曉勳 (銘伝大学准教授)	孫 昊 (同志社大学特別研究助手)
	テキストマイニングの日本語読解への応 用—比較読解を例として—	ワーキング・ホリデーを利用した台湾人 日本語学習経験者の現状—語りの中から みえてくるもの—	AI技術を用いた川端康成代筆問題の解明

1425-1445	奥村 訓代 (高知大学名誉教授)	黄 淑燕 (東海大学准教授)	蔡 佩青・魏 世杰 (淡江大学准教授・淡江大学准教授)
	AI時代の日本語教育を考える —AIは、敵か味方か—	日本語教科書と生教材読解の間 —いくつかの語を例に—	AI人工知能による個性的翻訳の可能性 —ニューラル機械翻訳モデルの性能比較—
1445-1505	質疑応答 (1445-1455)	渡邊 靖史 (国際教養大学非常勤講師)	葉 斐 (淡江大学助理教授)
1505-1520		AI研究とこれからの日本語教育に必要な プロソディー教育—フォーカス・オン・ フォーカス (Focus on Focus)—	AIで読む村上春樹 —『風の歌を聴け』を例にして—
1520-1525	休憩時間		
1525-1530	パネルディスカッション	テーマ AIと日本語教育との対話 会場 驚声国際会議場 司 会 曾 秋桂 (淡江大学教授兼学科主任)	
1530-1630		パネリスト① 陳 明姿 (台湾大学非常勤教授) パネリスト② 林 長河 (銘伝大学教授兼学科主任) パネリスト③ 邱 若山 (静宜大学教授兼学科主任) パネリスト④ 賴 錦雀 (東呉大学特聘教授) パネリスト⑤ 武田 浩一 (日本名古屋大学教授) パネリスト⑥ 山本 和英 (長岡技術科学大学准教授) パネリスト⑦ 趙 宣映 (韓国仁川大学校准教授) パネリスト⑧ 奥村 訓代 (高知大学名誉教授)	
1630-1700		総合討論	
1700-1705	閉会式	会場 驚声国際会議場 司 会 葉 斐 (台湾日本語教育学会事務局長) 閉会の辞 曾 秋桂 (台湾日本語教育学会理事長)	
1730-1930	懇親会	会場 福格大飯店17F (251新北市淡水區學府路89號)	

主 催 淡江大学日本語学科・台湾日本語教育学会・淡江大学村上春樹研究センター
助 成 科技部・国際交流基金
後 援 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所・
韓国日語教育学会、日本比較文学会、台湾日本語文学会、瑞蘭国際出版